

科目名	外国史（西洋）					単位	2.0
担当教員	B u r e n i n a Y u l i a						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4408

●授業のテーマ

近代日本の海外留学史

●到達目標

日本の近代において行われた海外留学について学ぶことによって、当時の日本と欧米の関係・交流について基礎的な知識を得るとともに、それぞれの歴史的背景とその特色について理解を深める。

●学習内容(授業概要)

近代日本の形成にあたって、西洋文化の受容がすすみ、海外への留学が重視され、幕末から明治にかけて、幕府・諸藩、明治政府は西欧の進んだ学問・技術を導入するために多くの学生を欧米に派遣した。留学生たちは海外で何を学び、帰国後、どのような成果をあげたのか、また海外体験が留学生たちにどのような影響をもたらしたのか、その実態と特徴について学ぶ。

●学習内容(授業計画)

この授業では以下の歴史的人物を取り上げる予定である。

榎本武揚
伊藤博文
森有礼
山下りん
ラギーザ玉
高橋瑞子
大江スミ
津田梅子
大山捨松
山川健次郎
中江兆民
西周
中村正直
南方熊楠

●準備学習・事後学習の内容

授業中に指示した文献・関連事項などについて調べること。

●成績評価方法・基準

出席を含む平常点(50%)、レポート(50%)

●テキスト(必携)

とくになし。

●参考文献／その他

石附実『近代日本の海外留学史』中公文庫、1992年

●履修上の注意

私語厳禁。毎回、授業内容のまとめと感想を書く必要がある。